

研究活動一覽

(本誌掲載分省略)

関下 稔(朝日 稔)

著書

「多国籍企業の国際事業提携に関する予備的考察
提携・委託・系列化・資本参加・共同経営の象徴的確定」 『立命館国際地域研究』第23号 2005年3月
立命館大学国際地域研究所

書評

「安藤哲生、川島光弘、韓金江著『中国の技術発表と
技術移転』」 『世界経済評論』2005年7月号 2005年7月

安齋 育郎

著書

『戦争と芸術』(共著) かもがわ出版 2005年5月

『騙される人騙されない人』 かもがわ出版 2005年6月

『だます心 だまされる心』 岩波書店 2005年6月

論文

「原爆被爆者集団訴訟の争点とその背景」(共著) 『立命館平和研究 立命館大学
国際平和ミュージアム紀要』第6号 2005年3月

「平和のための社会開放施設 立命館大学国際平和
ミュージアム」 『軍縮問題資料』 2005年9月

監修

『ヒロシマから問う 平和祈念資料館の「対話ノート」』 かもがわ出版 2005年6月

石原 直紀

書評

「上杉勇司著『変わりゆく国連PKOと紛争解決』」 『国際政治140』国際政治研究
の先端2 日本国際政治学会編 2005年3月

板木 雅彦

著書

新岡智・板木雅彦・増田正人編『国際経済政策論』
(共編著) 有斐閣 2005年8月

論文

- “In search of the driving force of globalization: the long-term decline of the profit rate in the US and other advanced capitalist countries”
Ritsumeikan International Affairs, vol.3 立命館大学国際地域研究所 2005年3月
- 「いわゆる『のれん代』からみた多国籍企業の独占的産業株式資本への転化」
 日本国際経済学会編『国際経済』第56号 2005年10月

及川正博

論文

- 「『アメリカの時計』 「大恐慌」と「アメリカの夢」崩壊の叙事劇」
 『アメリカ演劇』17 法政大学出版局 全国アメリカ演劇研究者会議 2005年12月

大島堅一

著書

- Japan Environmental Council ed., *The State of the Environment in Asia 2005/2006* (分担執筆)
 Springer-Verlag 2005年
- 金澤史男編『財政学』(分担執筆)
 有斐閣 2005年
- 新岡智・板木雅彦・増田正人編『国際経済政策論』(分担執筆)
 有斐閣 2005年
- 高村ゆかり・亀山康子編『地球温暖化交渉の行方』(分担執筆)
 大学図書 2005年

論文

- 「米国における軍事基地閉鎖・民生転換政策」(共著)
 『環境経済・政策学会和文年報第10号』東洋経済新報社環境経済政策学会 2005年10月
- 「イギリスにおける炭鉱閉鎖後の地域再生」(共著)
 『環境と公害』第35巻第2号 岩波書店 2005年10月
- その他の文筆活動
- 「公共交通と人のこころ」
 『Libella』(財)公害地域再生センター 2005年1月
- 「譲り合うイギリス人」
 『Libella』(財)公害地域再生センター 2005年3月
- 「イギリス選挙事情」
 『Libella』(財)公害地域再生センター 2005年5月
- 「生後1年」
 『Libella』(財)公害地域再生センター 2005年7月
- 「ナショナル・トラスト」
 『Libella』(財)公害地域再生センター 2005年9月
- 「イギリスの公園」
 『Libella』(財)公害地域再生センター 2005年11月

大 空 博

論 文

- 「サイゴン陥落から30年 ベトナム報道にみる神話の虚実 「民族解放」にかすんだもう一つの視点」 『新聞研究』No.647 日本新聞協会 2005年6月

小 木 裕 文

論 文

- 「華人の言語と教育」 『華人社会がわかる本』 山下清海編 明石書店 2005年4月
- 「シンガポール 増加する中国新移民」 『華人社会がわかる本』 山下清海編 明石書店 2005年4月
- 「東南亜華人的言語と教育初探」 『新世紀学刊』第5期 斯雅舎 2005年11月

夏 剛

論 文

- 「小泉拜鬼：文化層面的剖析」 『世界知識』(隔週刊) 2005年23号(総1426号) 北京・世界知識出版社 2005年12月
- 「胡耀邦対日工作之風範」 『世界知識』(隔週刊) 2005年24号(総1427号) 北京・世界知識出版社 2005年12月

シンポジウム

- 「中国の政治文化と日本の企業文化に見る東亜細亜の方向性・可能性」 立命館大学国際地域研究所主催国際シンポジウム「東アジア共同体の構築を目指して」 2005年1月
- 「由中国軍事新思考、覇権軍国化的危険性及安全展望台海兩岸關係及東北亜安保」 台湾大学社会科学院・立命館大学国際地域研究所共催国際シンポジウム「東北亜之台湾與兩岸關係」(台北) 2005年7月

桂 良太郎

調査報告

- 育児不安の解消・子供の虐待防止のための「子育て・女性健康支援センター」活動の評価に関する研究事業報告書 (社団法人)日本助産師会「研究事業報告書」(平成16年度) 社団法人日本助産師会 独立行政法人福祉医療機構「子育て支援基金」助成事業 2005年3月
- 「子育て・女性健康支援センターの評価 社会学の立場から」 『助産師』vol.59 No.2 社団法人日本助産師会 2005年5月

書評

- | | | |
|------------------------|-------------------------|---------|
| 「賞清隆『都市計画へのアプローチ』古今書院」 | 『奈良大地理』第11号
奈良大学地理学会 | 2005年3月 |
|------------------------|-------------------------|---------|

講演

- | | | |
|------------------------|--------------|--------------|
| 「アジアの社会福祉 アジアの高齢化問題から」 | 神戸市シティ・カレッジ | 2005年2月7日11月 |
| 「わかりやすい人権講座 人権って何！」 | 宇治市職員研究兼市民講座 | 2005年2月 |

河村(丸岡)律子

論文

- | | | |
|----------------------------|---|---------|
| 「農業開発における環境への対応 PNGを事例として」 | 平成15年度～平成16年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書『グローバル経済化のもとにおける資源・エネルギー・食糧問題と環境政策』 | 2005年3月 |
|----------------------------|---|---------|

君島東彦

著書

- | | | |
|---|----------------------------|----------|
| 「『普通の近代国家』を超えるプロジェクトとしての日本国憲法 九条と二四条の一体的把握」 | 福島みずほ編『みんなの憲法二四条』明石書店 | 2005年5月 |
| 「憲法九条の平和学」「NGOの平和学」 | 岡本三夫・横山正樹編『平和学のアジェンダ』法律文化社 | 2005年5月 |
| 「最高法規性と憲法改正」「平和原則と国際平和協力」 | 浦田賢治編『プリマブック憲法(第2版)』法律文化社 | 2005年11月 |

論文

- | | | |
|--|--|----------|
| 「人道的介入と日本国憲法」 | 全国憲法研究会編『法律時報増刊 憲法改正問題』日本評論社 | 2005年5月 |
| 「NGOの民主的正統性」 | 『国際人権』16号(国際人権法学会2005年報) | 2005年10月 |
| 「核軍縮におけるNGOと政府の連携 『世界法廷運動』の意義と射程」 | 愛敬浩二・水島朝穂・諸根貞夫編『浦田賢治先生古稀記念論文集・現代立憲主義の認識と実践』日本評論社 | 2005年11月 |
| 「GPPACグローバル・アクション・アジェンダを読む ニューヨーク国連本部での世界会議を終えて」 | 『法学セミナー』612号 日本評論社 | 2005年12月 |

学会発表

- | | | |
|--|--|----------|
| “Revisiting the Pacifism of the Japanese Constitution” | Asian Forum for Constitutional Law 2005
Seoul National University | 2005年9月 |
| 「紛争下の健康、人権、いのちを守る イスラエル/パレスチナNGOの実践」(討論者) | 日本平和学会2005年度秋季研究集会シンポジウム | 2005年11月 |

講演

武力紛争予防のためのグローバル・パートナーシップ (GPPAC) 『東京アジェンダ』採択記念 『敵と味方に二分しない社会 多文化共生と憲法9条』	伊藤塾東京校	2005年3月
「東アジアの平和と日本国憲法」	大阪弁護士会館	2005年3月
「市民がつくる平和 NGOによる国際平和協力の可能性」	ひとまち交流館・京都	2005年4月
「人道的危機への非暴力的介入 日本国憲法とNGO」	南山大学社会倫理研究所	2005年5月
「世界の平和NGOはいま GPPACって何？」	東京・文京シビックセンター	2005年6月
「GPPAC世界会議報告」	東京・豊島区民センター	2005年9月
「日本学術会議平和問題研究連絡委員会報告『21世紀における平和学の課題』について」	関西平和問題研究会(キャンパスプラザ京都)	2005年10月
「憲法第9条と世界のNGO」	和歌山人権研究所	2005年10月
「『しない』平和主義と『する』平和主義」	日本弁護士連合会人権擁護大会プレシンポジウム 京都弁護士会	2005年11月

シンポジウム

「GPPACの意義と今後の展望」	武力紛争予防のためのグローバル・パートナーシップ (GPPAC) 東北アジア地域会議および記念シンポジウム 国連大学	2005年2月
「日本国憲法の平和主義について」	武力紛争予防のためのグローバル・パートナーシップ (GPPAC) 世界会議 ニューヨーク国連本部	2005年7月
「日本国憲法の平和主義を捉え直す」	韓日共同シンポジウム「東北アジアの平和な共存と連帯のために」 広島	2005年10月
「日本国憲法『改正』と東アジアの平和」	日本国憲法に関する韓日共同シンポジウム(主報告者) ソウル	2005年11月
「国連改革と日本国憲法」	立命館大学国際シンポジウム 「人間の安全保障と国際社会のガバナンス」(ディスカッサント)	2005年12月

その他の文筆活動

辻元清美氏との対談「どちらがほんとうに現実的なのか 平和ボケの改憲論と9条のリアリズム」	『世界』740号 岩波書店	2005年6月
「誰がどのように平和をつくるのか 日本国憲法と世界のNGO」	『協う』89号 くらしと協同の研究所	2005年6月
「軍隊は安全をもたらさない」(提言)	『京都新聞』	2005年7月

清 本 修 身

論 文

「拡大欧州は平和が戦争か 重大な転機を迎えたEU」 『調研クォーターリー』2005年 2005年9月
秋号 読売新聞社

その他の文筆活動

「インドネシアなど東南アジア4カ国の概況」 『ブリタニカ国際年鑑 2005 2005年4月
年度版』 ブリタニカ・ジャ
パン社

小 林 誠

著 書

『国際政治辞典』(共著) 弘文堂 2005年12月

論 文

“The Hierarchy of Global Governance: a Metaphor
for the Imperial Machine” *Ritsumeikan International* 2005年3月
Affairs Vol. 3 立命館大学国
際地域研究所

「ポストナショナルな世界配置について イラク戦争
後の帝国と国家」 『アソシエ』第15号 2005年4月

「人道的介入のスタンダード 国際関係の倫理化と
『国際共同体』の言説」 『アソシエ』第16号 2005年12月

佐 藤 誠

論 文

“La diplomatie japonaise de l'aide et l'Afrique” (共著) *Afrique Contemporaine* 2005年1月

「英国の協同組合運動における企業の社会的責任活動
Co-operative Groupの実践」 『生活協同組合研究』348号 2005年1月
生協総合研究所

“Japanese Aid Diplomacy in Africa: An Historical
Analysis” *Ritsumeikan Annual Review* 2005年12月
of International Studies Vol.4
立命館大学国際関係学会

翻 訳

J.バレア、J.L.モンソン 『スペイン社会的経済概括
報告書(2000年)』(共訳) 非営利・協同総合研究所 2005年4月
いのちとくらし

Michael SUTTON

論 文

“The World Trade Organisation and Economic
Development” Discussion Paper, 青山学院大 2005年7月
学 WTO研究センター

“Japanese Trade Policy and ‘Economic Partnership Agreements’: A New Conventional Wisdom” *Ritsumeikan Annual Review of International Studies* Vol.4 2005年12月
立命館大学国際関係学会

Giorgio SHANI

論文

“Beyond Khalistan? Sikh Diasporic Identity and Critical International Theory” *Sikh Formations: Religion, Culture, Theory, Volume 1, Number 1* 2005年6月
Routledge

“Indigenous Modernities: Nationalism and Communalism in Colonial India” *Ritsumeikan Annual Review of International Studies* Vol.4 2005年12月
立命館大学国際関係学会

学会発表

“Globalization, Human Security and Diaspora: A Case Study of Sikh ‘Long-distance Nationalism’ and Its Implications for Post 9/11 Security” *46th International Studies Association (ISA) Annual Convention, Hawaii* 2005年3月
(国際学学会)

“Beyond Westphalia?: Sikhism, Islam and Critical International Theory”, paper presented at the 3rd Annual Conference of the Budapest 9/9/2005 ヨーロッパ政治研究協会(ECPR) 2005年9月
European Consortium of Political Research

高橋伸彰

著書

『少子高齢化の死角』 ミネルヴァ書房 2005年10月

『グローバル化と日本の課題』 岩波書店 2005年12月

論文

「ケインズの経済学 正統の限界と異端の可能性」 『ケインズ』(中公クラシックス) 2005年11月
中央公論新社

竹内隆夫

論文

「タイの産業化と家族変動 家族形態の変容を中心に」 北原淳編 『東アジアの家族・地域・エスニシティ 基層と動態』 東信堂 2005年1月

「タイの経済発展と東北タイ農村」 平成14～16年度科学研究補助金研究成果報告書 『通貨危機後の東南アジア諸国における企業・金融部門の改革再編に関する実証的研究』 2005年3月

龍澤邦彦

論文

「現行宇宙法体系を宇宙商業化に適応させる必要性に関する考察」(共著) 『航空宇宙法の新展開』 八千代出版 2005年3月

“Politics and Government in Japan”(共著) *Contemporary Political Systems* 2005年3月

中川涼二

論文

“The Revival of “Notheast Asia” in Japan: Why Have Japanese Opinion Leaders Begun to Speak of “Northeast Asia”?” *Ritsumeikan International Affairs Vol. 3* 立命館大学国際地域研究所 2005年3月

「IT」 『中国産業動向季報』通巻第4号 新華通信ネットジャパン 2005年8月

「中国経済のグレードアップに向けて 『重化学工業段階』・『新型工業化路線』論争の意義と限界」 『国際金融』1152号 (財)外国為替貿易研究会 2005年10月

「IT」 『中国産業動向季報』通巻第5号 新華通信ネットジャパン 2005年11月

シンポジウム

「日本における東北アジア論の発展とその系譜」 「中日韓協力と地域秩序」国際学術シンポジウム 中国社会科学院日本研究所主催 2005年8月

「中国経済のグレードアップとIT産業 大連ソフトウェア産業発展の中国経済にとっての意味」 国際産官学連携組織「東北アジア地域協力研究推進機構」設立記念シンポジウム 大連市人民政府発展研究センター・立命館大学東北アジア地域研究センター・舞鶴市「京都・まいづる立命館地域創造研究機構(MIREC)」主催 2005年9月

Beyond the “Politically Cold, Economically Hot” Phenomenon: Sino-Japanese Political and Economic Relations Six University Symposium of 2005 on “the rise of China and its implications” Fudan University 2005年10月

中達啓示

“Prime Minister in Command: Koizumi and the Abduction Question” *Korea Review of International Studies* vol.7, No.1 Global Research Institute, Korea University 2004年12月

中 本 真生子

その他の文筆活動

「国民主権と民族自決 第一次大戦中の言説の変化とフランス」 『史學雑誌』第14編 第11号 2005年11月
史學會

長 須 政 司

論 文

“Challenge of Managing Donors in Cambodia: Review of the Process of Preparings the National Poverty Redecation Strategy” *True Ownership and Policy Autonomy: Managing Donors and Owning Policies* 2005年8月
edited by Izumi Ohno
National Graduate Institute for Policy Studies Development Forum

星 野 郁

著 書

新岡智・板木雅彦・増田正人編 『国際経済政策論』(分担執筆)第12章「グローバリゼーションとEU」 有斐閣 2005年8月

論 文

「北欧の福祉国家と社会モデルの現状と可能性」 研究年報『経済学』Vol. 66, No.3 東北大学 2005年2月

「中東欧諸国の労使関係とEU社会的対話の行方」 『欧州憲法条約とIGC』日本EU学会年報 第25号 2005年9月
有斐閣

本 名 純

著 書

「メガワティと闘争民主党の敗北」 松井和久・川村晃一編 『インドネシア総選挙と新政権の始動』明石書店 2005年

「政軍関係 弱まる軍への政治コントロール」 松井和久・川村晃一編 『インドネシア総選挙と新政権の始動』明石書店 2005年

「民主化時代のインドネシアにおける国家暴力の変容」 松下冽編 『途上国社会の現在 国家・開発・市民社会』法律文化社 2005年

論 文

「2004年政権交代 コドヨノの勝利と挑戦と困難」 財務省委嘱研究『インドネシアの将来展望と日本の援助政策』国際金融情報センター編 2005年3月

「ポスト・スハルト時代におけるジャワ3州の地域政治 民主化・支配エリート・2004年選挙」	『アジア研究』51巻第2号	2005年4月
“The Post-Suharto Local Politics in West, Central and East Java: Power Elites, Concession Hunting and Political Premanism”	4th International Symposium of the Journal Anthropology Indonesia	2005年7月
“Current Date on the Indonesian Military Elite, March2003-August2005” (共著)	INDONESIA (Cornell University)	2005年10月
調査報告		
「治安と開発 政治・安全保障部門における日アセアン協力に向けて」	国際協力機構(JICA)ASEAN地域援助研究会	2005年10月
「民主化時代のインドネシアにおける民族アイデンティティと政治動員 ジャワのプタウィ・マドゥラの事例から」	国立民族学博物館研究会	2005年11月
学会発表		
「テロ・民主化・ローカルパワー：インドネシア政治研究の危機？」	東南アジア史学会インドネシア研究会	2005年4月
「ポストスハルト期における暴力装置の変容 西・中・東ジャワの事例から」	アジア政経学会関西支部大会	2005年6月
シンポジウム		
「復興フェーズに入ったアチェをめぐる政治の綱引き」	地域研究コンソーシアム・シンポジウム「緊急支援から地域再建へ：インド洋地震・津波被害と地域社会」上智大学	2005年4月
その他の文筆活動		
「ゴルカル党「再与党化」が招くジレンマ」	『世界週報』	2005年1月
「インドネシア／復興フェーズに入ったアチェをめぐる政治的思惑」	『世界週報』	2005年4月
「地方首長直接選挙 市民社会の拡大それとも危機？」	Indonesia Alternative Information No.75	2005年7月
「インドネシア／地方首長選挙導入で民主化インパクト？」	『世界週報』	2005年9月
「ユドヨノ政権における国軍改革の再挑戦」	『アジア研ワールドトレンド』	2005年12月
その他		
“Political Decentralization and Military Fragmentation: The Changing Face of State Violence in Post-Suharto’s Indonesia”	Toward New Model East Asian Society: Entrepreneurship and Family (JSPS-NRCT Core University Program)	2005年10月

“The Post-Reformasi Transformation of Indonesian Military in Politics” “The New Order and its Legacy,” international conference in honor of Professor Harold Crouch, The Australian National University, Canberra, 18-19 Nov. 2005 2005年11月

“Japan’s Civil-Military Relations in Transition” “Indonesia-Japan: Establishing New Linkages Through Research and Education” Public Seminar Organized by Center for Japanese Studies, University of Indonesia, and Institute for Oriental Culture, Tokyo University (sponsored by JICA), Jakarta 2005年12月

松 下 洌

研究発表

「グローバリゼーションと対峙するラテンアメリカ」 長崎平和文化研究所 2005年10月

講 演

「ネオリベラル型グローバリズムと反グローバリズムを越えて」 長崎平和研究講座 2005年10月

三 宅 正 隆

研究ノート

「チョムスキー：最適性理論と構造主義をめぐって」 『立命館言語文化研究』16巻3号 立命館大学国際言語文化研究所 2005年2月

文 京 洙

著 書

『済州島現代史：公共圏の死滅と再生』 新幹社 2005年5月

『韓国現代史』 岩波新書 2005年12月

論 文

「戦後60年と在日朝鮮人“国民”の呪縛を越えて」 『思想』2005年12月号 No. 980 岩波書店 2005年11月

森 岡 真 史

著 書

『数量調整の経済理論：品切回避行動の動学分析』 日本経済評論社 2005年10月

論 文

- 「レーニンと『収奪者の収奪』」上島武・村岡到編
『レーニン 革命ロシアの光と影』所収 社会評論社 2005年6月
- 「資本主義の多様性と経済理論」 『季刊経済理論』(経済理論学会)第42巻第3号 2005年10月

書 評

- 「塩沢由典編『経済学の現在1』, 吉田雅明編『経済学の現在2』」 『週刊読書人』4月22日号 2005年4月

若 菜 マ ヤ

論 文

- “Society in Self, Self in Society: Survival in *The Wings of the Dove*” *Texas Studies in Literature and Language* 47. 1 (Spring, 2005) 2005年5月

学会発表

- “The Unacknowledged Language and Attitude of Commerce in Henry James” Literature, Philosophy, and Commerce in Europe and the Americas, 1750-1900 (sponsored by the Division of Literatures, Cultures, and Languages, Stanford University) 2005年4月
- “‘Obsessed’ by James: The Case of “The Real Thing”” Henry James Society (International Conference) 2005年7月
- “Transatlantic Henry James: Americans Abroad in *Daisy Miller* (New York Edition).” 47th Annual Convention of MMLA: “History, Memory, Exile.” 2005年11月

Michel WASSERMAN

著 書

- Destination Japon - Sur les pas de Guimet et de Claudel* (共著) EMCC 2005年

論 文

- “Paul Claudel et les peintres de Kyoto” *Bulletin de la Société Paul Claudel* 2005年6月
- “Des rônins à *Christophe Colomb*” *Bulletin de la Société Paul Claudel* 2005年12月
- “Claudel célébré dans ses deux arches d’or” *Bulletin de la Société Paul Claudel* 2005年12月

書 評

“Ecrivains diplomates : Paul Claudel”

*Bulletin de la Société Paul
Claudel*

2005年6月

その他

「クロードル, 京都, 日本画」

「クロードルと京都画壇」展
解説パンフレット クロード
ル没後50年記念企画委員会

2005年10月

